

授業科目名	体力科学特講演習		授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	吉武 康栄			補助担当者名		
単位数	2 単位		履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	体力科学特講の講義を踏まえ、実際に生体信号等のデータを取り、解析、考察することを目的とする。修士課程に相応しいレベルでのデータ取得法、解析方法、そして得られた結果の効果的なプレゼン法の習得を第1目標とする。					
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(60%) 授業への取り組み状況(40%) レポート等の提出状況(%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	担当する発表の内容、質疑応答状況、課題等の提出により点数を加算して総合評価する					
テキスト、教材 参 考 書	(参考書) ・計測法入門/内山 靖、小林 武、間瀬 教史(編集)、協同医書出版社 ・Neuromechanics of Human Movement : /Enoka, Roger M. (EDT)/ Human Kinetics Pub. ・Fatigue : Neural and Muscular Mechanisms (Advances in Experimental Medicine and Biology)、 Gandevia、 Simon C. (EDT) /Enoka, Roger M. (EDT) /McComas, Alan J. (EDT) /Publisher:Plenum Pub Corp Published.					
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)	学部授業において、運動生理学、身体科学論、バイオメカニクスの3科目、もしくはこれらに相当する授業を取得していることが望ましい。履修に関しては、事前に相談のこと。			
オフィス・アワー	メールにてアボを(y-yoshi@nifs-k.ac.jp)					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	吉武 康栄	体力科学特講の総括、イントロダクション				
2	"	A/D変換器				
3	"	信号波形解析1				
4	"	信号波形解析2				
5	"	筋収縮と筋形状変化				
6	"	筋収縮様式と筋活動				
7	"	運動制御				
8	"	実験1				
9	"	実験1プレゼン				
10	"	実験2				
11	"	実験2プレゼン				
12	"	実験3				
13	"	実験3プレゼン				
14	"	実験4				
15	"	実験4プレゼン				
16	"	総括				